

「奈良県紀の川圏域の減災に係る取組方針」に基づく取組項目の進捗状況確認（星取表）

令和4年12月末時点での進捗状況

資料4

赤字 今年度実施した取組のうち、前回から更新された回答

○：実施予定、●：実施済・引き続き実施、△：技術的支援・情報提供、-：対象なし

各機関の各取組項目について、令和4年度実施した内容（取組内容、進捗）

ハード・ソフト対策		No.	主要内容	課題の対応	目標時期	取組機関													
具体的な取組の柱						国								近畿農政局					
具体的取組						1 五 條 市	2 宇 陀 市	3 吉 野 町	4 大 淀 町	5 下 市 町	6 黒 滝 村	7 川 上 村	8 東 吉 野 村	奈良 県	奈良 地 方 気 象 台	近 畿 地 整 国 道 事 務 所 河 川	近 畿 地 整 紀 の 川 ダ ム 事 務 所 統 合	近 畿 農 政 局	
1. ハード対策の主な取組																			
1	河川整備計画の進捗に向け、奈良県・紀の川ダム統合管理事務所と連絡調整会議を実施。[和歌山河川国道事務所（以下、「和歌山河国」）]	1	河川整備計画に基づく河川改修の実施	M	引き続き実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	△	-	-
2	支川の北川で約780m ³ 、寿命川で約430m ³ 、宇智川で約390m ³ の堆積土砂撤去工事を年度未完了予定 [五條土木事務所] ・技術的な支援要請はなし。以下、コメントの無い取組は同様 [和歌山河国]	2	河道内樹木の伐採や河道内堆積土砂の除去等	M	引き続き実施	●	●	-	●	●	-	-	-	-	●	-	△	-	-
3		3	多数の家屋や重要施設等の浸水が想定される区間の保全対策（樹木伐採、土砂掘削等）	緊	引き続き実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-
4		4	堤防天端の保護	M	R1年度から実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	△	-	-
5		5	裏法尻の補強	M	R1年度から実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	△	-	-
6	・R3年11月新庁舎へ移転。浸水対策済み [五條市]	6	雨水排水施設や河川改修、予備又は移動式ポンプ等を活用した内水排除等の整備による重要インフラの機能確保	緊	引き続き実施	●	●	-	-	○	-	-	-	-	○	-	△	-	-
7	・確保済み [五條市]	7	樋門、樋管等の無動力化、人員等の運用体制の確保	I K M	H29年度から順次実施	●	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
8		8	利水ダム等、事前放流の実施・体制構築（大滝ダムの事前放流）	流	R3年度から順次実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
2. 逃げ遅れゼロに向けた避難時間確保のための取り組み																			
9		9	①県～市町村間のホットラインの整備に関する事項	C	引き続き実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-	-	-	-
10	・五條市地域防砂計画に記載 [五條市]	10	避難指示の発令基準の設定	B	引き続き実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	△	-	-	-	-
11		11	水位周知河川外における発令基準検討	B	引き続き実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	-	-	-	-
12	・R元年度作成済み [五條市] ・タイムライン策定の協力依頼はなかった[奈良地方気象台]	12	②避難指示の発令に着目したタイムラインの作成・更新・活用に関する事項	D	引き続き実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	△	△	△	-	-
13	・タイムライン策定の協力依頼はなかった[奈良地方気象台]	13	タイムラインの作成及び更新の支援	D	引き続き実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△	△	△	-	-
14	・タイムライン策定の協力依頼はなかった[奈良地方気象台]	14	タイムラインに基づく訓練の実施	D	引き続き実施	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	-	-
15	・タイムライン策定の協力依頼はなかった[奈良地方気象台]	15	多機関連携型タイムラインの拡充	緊	R2年度から順次実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△	-
16		16	想定最大外力を対象とした洪水浸水想定区域図の策定・公表（ダム下流含む）	A	R1年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	△	-	-
17	・令和4年度においても引き続き実施。[近畿農政局]	17	ダム操作に関する情報提供や住民周知のあり方の検討	緊	R1年度から順次実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	●
18	・R3年度作成、市ホームページ公表 [五條市]	18	洪水浸水想定区域図の水害ハザードマップへの反映	A	引き続き実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	△	-	-	-	-
19	・R3年度作成完了、市ホームページ公表 [五條市]	19	ため池ハザードマップの作成、周知	流	R3年度から順次実施	●	●	●	○	●	○	○	○	○	○	-	-	-	-
20		20	改正水防法への理解促進、浸水実績図の公表に向けた仕組みづくり	A	H29年度から順次実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	-	△	-	-
21	・H25年10月に十津川村と広域避難に関する協定を締結 [五條市]	21	③ハザードマップの作成・周知等に関する事項	E	引き続き実施	●	-	○	○	○	○	○	○	○	○	△	-	-	-
22		22	広域避難を考慮したハザードマップへの更新・周知	E	H30年度から順次実施	○	-	○	○	○	○	○	○	○	●	△	-	-	-
23		23	ハザードマップポータルサイトへ浸水想定区域（想定最大規模）を掲載	緊	引き続き実施	-	-	-	-	-	-	●	-	△	-	△	-	-	-
24		24	まるごとまちごとハザードマップの検討	H	H30年度から順次実施	○	○	○	○	●	○	○	○	○	△	-	△	-	-
25	・ハザードマップに掲載、周知 [五條市]	25	避難場所並びに避難経路の指定・更新及び周知	G	引き続き実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	△	-	-	-	-
26		26	避難が困難な地域や住民が逃げ遅れた場合などの応急的な避難場所の確保	緊	引き続き実施	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	△	-	△	-
27	・マイ・タイムラインの作成支援 [五條市] ・避難行動要配慮者の個別支援計画の作成促進 [五條市] ・タイムライン策定の協力依頼はなかった[奈良地方気象台]	27	住民一人一人のマイタイムライン・マイ防災マップの作成促進	緊	引き続き実施	●	△	-	●	○	-	●	-	△	△	-	-	-	-
28	・把握している [五條市]	28	④情報伝達・避難計画、平時からの住民への周知・教育・訓練に関する事項	G	引き続き実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	△	-	-	-	-
29	・計画作成、訓練促進支援を実施 [五條市]	29	要配慮者利用施設の避難計画作成の促進および避難訓練の促進支援	G	引き続き実施	●	●	●	●	●	○	●	●	●	△	△	△	-	-
30	・避難行動要支援者名簿の作成と運用。個別支援計画の作成促進 [五條市]	30	避難行動要支援者の避難支援体制の整備	強	R4年度から順次実施	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-
31	・専用避難所の設置、資機材の備蓄、担当職員の体制構築 [五條市]	31	避難所における感染症対策	強	R4年度から順次実施	●	○	●	●	○	○	●	●	○	○	-	-	-	-
32	・防災行政無線、緊急通報メール（エリアメール）、FMラジオ、市ホームページなど [五條市]	32	リアルタイム情報の沿川住民への提供等	F	H29年度から順次実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-	△	-	-
33		33	防災施設の機能に関する情報提供の充実	緊	引き続き実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	△	-	-

「奈良県紀の川圏域の減災に係る取組方針」に基づく取組項目の進捗状況確認（星取表）

令和4年12月末時点での進捗状況

資料4

赤字 今年度実施した取組のうち、前回から更新された回答

○：実施予定、●：実施済・引き続き実施、△：技術的支援・情報提供、-：対象なし

各機関の各取組項目について、令和4年度実施した内容（取組内容、進捗）

ハード・ソフト対策		No.	主要内容	課題の対応	目標時期	取組機関													
具体的な取組の柱						国								近畿地整		近畿農政局			
具体的取組						1 五條市	2 宇陀市	3 吉野町	4 大淀町	5 下市町	6 黒滝村	7 川上村	8 東吉野村	奈良県	奈良地方気象台		国和歌山河川事務所	紀の川ダム統括管理事務所	
34	・公式LINEの利用登録推進【五條市】 ・登録関連の協力依頼はなかった【奈良地方気象台】	34	メール情報配信システムの構築、利用登録促進	F	H29年度から順次実施	●	●	●	●	○	○	●	●	●	△	△	-	-	
35	・観測設備への危機管理型水位計やカメラの設置【五條市】	35	簡易水位計、量水標、CCTVカメラの設置検討・整備	F	引き続き実施	●	○	●	○	●	●	●	●	-	△	-	-	-	
36	・市ホームページにて防災ポータルページ掲載【五條市】 ・協力依頼はなかった【奈良地方気象台】	36	レーダ雨量計等の代替手段の利用（情報提供場所の理解促進）	F	引き続き実施	●	○	○	○	○	●	●	○	●	△	-	-	-	
37	・6月30日からキキルの危険度表示を警戒レベルと一致させて表示【奈良地方気象台】	37	メッシュ情報の充実（さまざまな地理情報との重ね合わせ等）・利活用の推進	F	引き続き実施	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	
38	・6月30日からキキルの危険度表示を警戒レベルと一致させて表示【奈良地方気象台】	38	警報等における危険度を色分け表示（分かりやすい表示）	F	引き続き実施	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	
39		39	ダム放流警報設備等の耐水化や改良	緊	引き続き実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	
40		40	浸水や停電により観測・監視ができない水位観測所への対策	緊	引き続き実施	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	△	-	-	
3. 被害の最小化のための迅速・的確な行動への備え																			
41	・広報等で継続して募集をしている【五條市】	41	水防団員や消防団員・水防協力団体の募集・指定を促進	I	引き続き実施	●	●	○	○	●	○	○	●	△	-	△	-	-	
42	・継続的に検討【五條市】 ・協力依頼はなかった【奈良地方気象台】	42	出動基準の必要性の再確認、基準整備	I	引き続き実施	●	●	●	○	○	○	○	●	△	△	-	-	-	
43	・協力依頼はなかった【奈良地方気象台】	43	水防団（消防団含む）との情報伝達訓練の実施	I	H30年度から順次実施	○	●	○	○	●	○	○	●	△	△	-	-	-	
44	・R4年7月に、五條市総合防災訓練を実施【五條市】 ・関係機関との水防訓練は実施していません。【和歌山河川】 ・協力依頼はなかった【奈良地方気象台】	44	関係機関が連携した実働水防訓練の実施（水防資材の点検管理含む）	I	引き続き実施	●	○	○	○	○	○	○	●	●	△	△	-	-	
45	・R3年11月新庁舎へ移転。自家発電装置は屋上に設置し、浸水対策済み【五條市】	45	想定最大規模洪水を踏まえた浸水時においても災害対応を継続するための庁舎等施設の改修検討（自家発電装置等の耐水化など）	L	引き続き実施	●	○	○	○	○	○	○	○	△	-	-	-	-	
46		46	想定最大規模洪水を踏まえた施設浸水を想定したBCP（業務継続計画）の検討	L	H30年度から順次実施	○	○	○	○	○	○	○	○	●	△	-	-	-	
47	・R4年7月に、国土交通省近畿総合通信局和歌山河川国道事務所との共同点検を実施【五條市】 ・直轄区間については、6～7月に重要水防箇所の共同点検を実施。【和歌山河川】	47	重要水防箇所の情報共有と関係市町等との共同点検の実施	J	R1年度から順次実施	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	△	-	-	
48		48	排水施設等の検討・整備	K	H30年度から順次実施	●	●	○	○	●	●	●	●	△	-	△	-	-	
49		49	排水設備の耐水化の強化	緊	引き続き実施	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△	-	-	
50		50	大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動	K	引き続き実施	○	-	-	○	●	-	○	-	△	-	△	-	-	
51		51	浸水被害軽減地区の検討	K	引き続き実施	○	-	○	○	○	○	○	-	△	-	-	-	-	
52		52	適切な土地利用の促進、周知	K	引き続き実施	○	-	○	○	○	○	○	○	△	-	-	-	-	
4. 意識の啓発及び防災教育拡充のための取り組み																			
53	・市内小中学校の生徒を対象に水害に関する防災学習を実施【五條市】	53	小中学校や地域を対象とした水災害教育の実施	H	H29年度から順次実施	●	○	○	○	○	○	○	○	●	●	△	-	-	
54	・自主防災会等に対する講習の実施【五條市】	54	水害リスクの程度に応じた水災害意識啓発の広報（出前講座の実施）	H	H29年度から順次実施	●	○	○	○	○	○	○	○	●	●	△	-	-	
55	・不定期で避難訓練を実施【五條市】 ・協力依頼はなかった【奈良地方気象台】	55	住民参加型の避難訓練の実施状況、今後の予定等の共有	緊	R1年度から順次実施	●	●	○	○	○	○	○	○	●	△	△	-	-	
56	・高齢福祉に関する協議会との協働、自主防災会による防災リーダー育成研修参加に対する支援を実施【五條市】	56	高齢者福祉部局への協議会等の情報提供や、地区防災計画の作成、防災リーダー育成の支援など、共助の仕組みの強化	緊	R1年度から順次実施	●	●	●	○	○	○	○	○	○	●	●	△	-	-
5. 土砂災害に対するハード対策の主な取組																			
57		57	レッド区域における24時間利用の要配慮者利用施設、代替性のない避難所の安全対策の強化	緊	R1年度から順次実施	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	
6. 土砂災害に対するソフト対策：逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取り組み																			
58	・6月30日からキキルの危険度表示を警戒レベルと一致させて表示【奈良地方気象台】	58	危険レベルの統一化等による災害情報の充実と整理	緊	引き続き実施	-	-	-	-	-	-	-	-	●	●	△	●	-	
59	・R3年度浸水想定区域・土砂災害警戒区域に位置する避難施設及び要配慮者利用施設へのハザードマップ掲示済み【五條市】 ・協力依頼はなかった【奈良地方気象台】	59	土砂災害警戒区域に関する現地での周知方法の検討	緊	引き続き実施	●	●	●	●	●	○	○	○	○	△	-	-	-	
60		60	大雨警報（土砂災害）の危険度分布等、土砂災害警戒情報を補足する情報提供	緊	引き続き実施	-	-	-	-	-	-	-	-	●	●	-	-	-	
7. 複合災害に対するソフト対策：逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取り組み など																			
61	・協力依頼はなかった【奈良地方気象台】	61	土砂災害・洪水氾濫により被災する危険性が高い箇所のうち緊急性が高い箇所の事例などについて情報共有	緊	引き続き実施	-	-	-	-	-	-	-	-	○	△	△	-	-	
62		62	砂防堰堤、遊砂地等の整備と河川改修等が連携した効率的な対策を実施すべき箇所について検討	緊	引き続き実施	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	